

令和3年度病害虫発生予察注意報第3号

令和3年10月15日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

10月中旬現在、カキ炭疽病の発生量が多い園が認められている。今後、本病の発生に好適な気象条件となった場合、さらに発生量が増加することが予想されるため、防除対策を徹底する必要がある。

病害虫名：カキ炭疽病

- 1 対象作物 カキ
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い

5 注意報発表の根拠

- (1) カキ炭疽病の発生量が多く、‘富有’では被害の多い園が確認されている。
- (2) 本年はこれまで発生が問題とならなかった園においても、被害果が確認されている。
- (3) 現地発生園の発病果及び発病枝の病斑上に鮭肉色の分生子塊が多数形成されており(図1)、今後まとまった降雨があった場合、健全な果実への感染拡大が懸念される。
- (4) 向こう1か月の気象予報から、本病の発生に好適な条件となる可能性がある。

6 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内をよく観察し、発病果および発病枝(図1)を切除して園外処分する。
- (2) 防除薬剤は表を参考とし、多発園では速やかに防除を実施する。
- (3) 既に収穫期となっている品種もあることから、薬剤防除にあたっては使用基準を遵守する。



果実病斑



枝病斑



鮭肉色の分生子塊

図1 カキ炭疽病

表 カキ炭疽病の主な防除薬剤と使用基準*

農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	FRAC コード**	薬剤のグループ名
トップジン M 水和剤	1,000～ 1,500 倍	収穫前日まで	6 回 以 内	1	MBC 殺菌剤
ベンレート水和剤	2,000～ 3,000 倍	収穫前日まで	6 回 以 内		
オンリーワンフロアブル	2,000～ 3,000 倍	収穫前日まで	3 回 以 内	3	DMI 殺菌剤
スコア顆粒水和剤	3,000 倍	収穫前日まで	3 回 以 内		
フルーツセイバー	1,500～ 2,000 倍	収穫前日まで	3 回 以 内	7	SDHI
ナリア WDG	2,000～ 3,000 倍	収穫前日まで	2 回 以 内	7、11	SDHI、 QoI 殺菌剤

*農薬の登録内容は令和3年10月15日現在

**FRAC コードは殺菌剤の作用機構の分類を示す。

(お問合せ先) 鳥取県病害虫防除所 (鳥取県園芸試験場内、TEL: 0858-37-4211)



この情報は、鳥取県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.jppn.ne.jp/tottori/> です。

ホームページ2次元コード